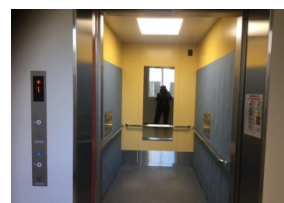


堀田っ子フェスティバル

写真は名古屋市立堀田小学校の秋の催し「笑顔たくさん 堀田っ子フェスティバル」。林京香さんが担当している 6 年の教室に向かった。4 階まで写真のエレベーターで上がった。これは 4 年前に設置されたもので、広くて使いやすい。設置の経過にも注目したい。



4 階廊下は、子どもや保護者らで一杯だった。教室に入ると、「人間 UFO キャッチャー」という名前のお店が繁盛していた。ゲームを案内する係りの一人が京香さん。iPad から流れる京香さんの声に、じっと耳を傾ける子どもたち。「店番」をするとは聞いていたが、大切な役割をこなして嬉しくなった。ここでも京香さんの「居場所」を確認できた。



となりの教室をのぞいてみると、たくさんの段ボールが並んでいた。これも 6 年生のお店である「巨大段ボール迷路」。



教室に顔なじみの A くんがいた。なんだか親しみを感じた。フェスティバルに備えて、苦労しながら段ボールを集めてきたという。A くんが差し出してくれた椅子の上から、写真を撮った。巨大迷路を上から眺めたので、足がすこしふらついた。



さいごの写真は、教室のうしろに掲示されていた「堀田学区の戦争」。新堀川沿いにあった兵器工場、熱田の兵器工場で作っていた戦闘機など。何回かに分け、あの戦争の原因、軍国教育や疎開、被害などを学ぶ授業である。ゲームよりも、こちらに興味があり、じっくりと見た。

担任の先生に話を伺うことができた。「地域から戦争を考えたい」とのことで授業を組み立てたという。戦争を体験した地元の斎藤さんに来ていただき、生徒に直接語ってもらう授業も。次のような斎藤さんの話が掲示してあった。

今考えると、私自身も当時は戦争に賛成していたし、協力していたんだと思います。でも、今は、そのことをとても反省しています。

「戦争が始まる前にできたことがあるんじゃないか。あの戦争を防ぐことができたんじゃないか」ということを今でも考えます。

こうして、足もとから戦争について学ぶことは大切なことだと思う。小学校の教室をじっくり見る機会はずっとないが、京香さんのおかげで貴重な体験ができた。

(2017 年 11 月 14 日)